

あすかのみや

しら

「瓦(かわら)」や「飛鳥宮」について調べよう

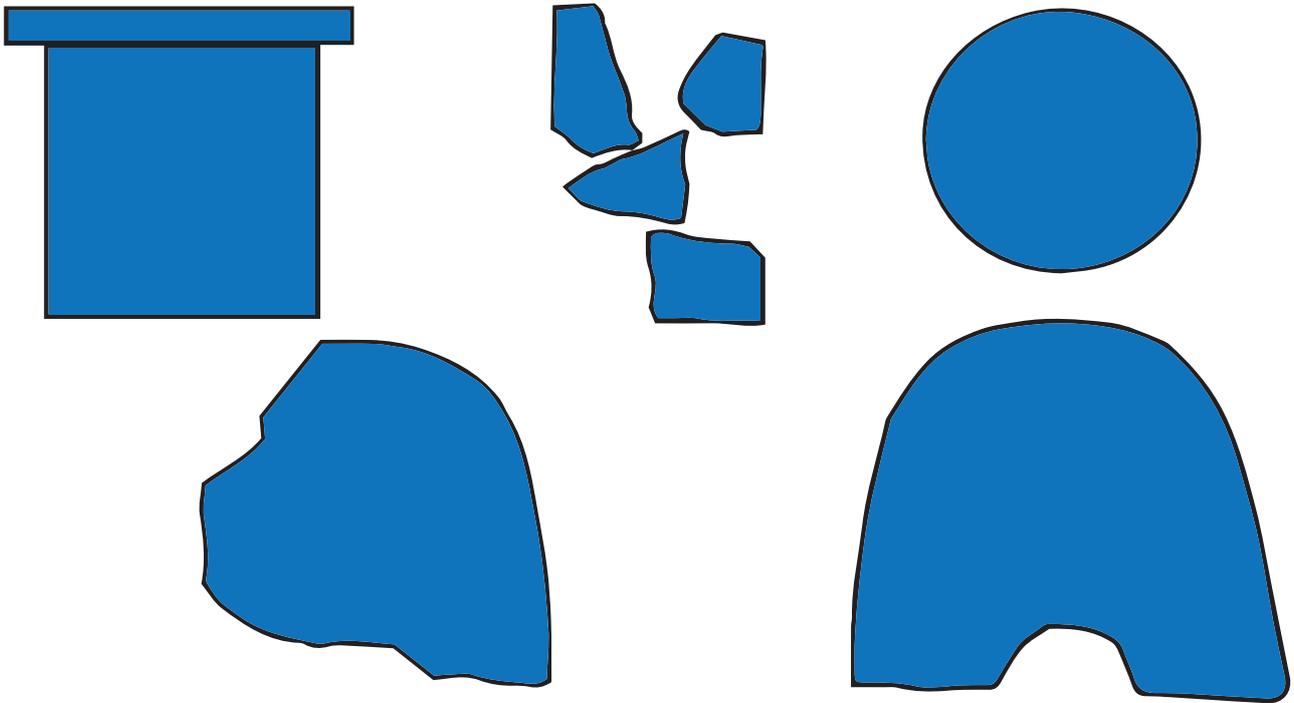
「かわら」は、たてもものの屋根をおおうもので、雨や風からたてもものを守ってくれます。

ねん土で作られていて、かたい焼きものです。

1400年前に、お寺（飛鳥寺）ではじめて使われるようになりました。

「かわら」のなかまの中には、おにの顔が5つあります。
どこにいるでしょう？

こんな形をしています。第3展示室でさがしてね



見つけたおにの顔をかいてみよう

--	--

した しゃしん ねん まえ あすか じ だい
 下の写真は、1350年くらい前（飛鳥時代）につくられた
 てん みや つか
 天のうの宮です。まだ、かわらが使われていません。
 はしら た
 たてものの柱は、あなをほって立てられています、
 ふか ふか
 深いあなはどのくらい深いでしょう？



あすか きゅうせき もけい
 飛鳥宮跡の模型

だい てん じ しつ
 第3展示室でさがしてね

- しょうがっこう つくえ たかさ
 ①小学校の机の高さとおなじ50cmくらい
 ②とびばこ6段とおなじ80cmくらい
 しんちょう
 ③ドラえものの身長129cm
 いじょう
 以上

こたえ ()

あすか きゅうせき いちばんおお
 飛鳥宮跡のなかで一番大きくてりっぱなたてものです。
 ひろ
 たてものの広さはどのくらいあるでしょう？



- きょうしつ
 ①教室とおなじくらいの
 9m×7m
 ②ドッジボールの内野と
 ないや
 おなじ20m×10m
 ③25mプールがすっぽり
 はい
 入る29m×15m

こたえ ()

☆かわらや飛鳥宮跡についてもっと知りたい人は、

(ビデオ) ライブラリーにも行ってみよう！

じ だい あすか じ だい こ だい かわら
 「時代」→「飛鳥時代」→「古代の瓦」

じ だい あすか じ だい ふくげん あすか みや ふくげん がく
 「時代」→「飛鳥時代」→「復元・飛鳥の宮」か「復元・エビノコ郭」

じゅんばん がめん
 の順番に画面にタッチ